

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

本校では、いずれの教科も全国の平均正答率を下回る結果となりました。教科ごとに見ると、算数では、全ての領域で全国の平均正答率よりも低い傾向にありました。国語では、「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」の領域で全国の平均正答率より高く、それ以外の領域では低い傾向にありました。児童質問紙からは、「規範意識」の項目についてはやや高い傾向が見られ、「生活習慣・学習習慣」の項目については低い傾向が見られました。

《強み・弱み》

本校では、以前より取り組んでいる「ふりかえり」や「学び合い」をさらに推進していくために、目と耳と心で「聞く」ことや互いの考えを「聴き合う」ことを大切にしています。これまでの日常的な取組を通して、聞くことで集中力が高まり、聴き合うことで考える力が少しずつついてきています。その一方で、無解答率が高い傾向もみられ、長文を最後まで粘り強く読み進めたり、理解したことに基づいて自分の考えをまとめたりする力には、弱さが見られます。また、記述式で答える問題や知識・技能の観点での弱さも見られます。

【国語・算数】

全国平均と比較して良い傾向がある問題

	問題番号	問題の概要	問題の趣旨
国語	1 三	オンラインで交流する場面において【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを選択したものとして、適切なものを選択する	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる
	2 一（2）	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する	情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができるかどうかをみる
算数	1（2）	はじめに持っていた折り紙の枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ	数量の関係を、□を用いた式に表すことができるかどうかをみる

全国平均と比較して課題が見られる問題

	問題番号	問題の概要	問題の趣旨
国語	3 三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えてみたりすることができるかどうかをみる
	3 四	【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気づいているかどうかをみる
算数	3（1）	作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ	直方体の見取図について理解し、かくことができるかどうかをみる
	5（1）	円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取ってかく	円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかをみる

【質問紙調査】

全国平均と比較して良い傾向がある主な項目

「自分にはよいところがあると思いますか」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」等、自分に関する項目
「人が困っているときは、進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」等、人との関わりについての項目
「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか」「あなたの学級では、学級生活をよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」等、学習における考え方や取り組み方に関する項目

全国平均と比較して課題が見られる主な項目

「普段、一日どれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか」
「普段、一日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか」等、スクリーンタイムに関する事項
「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」等、家庭学習に関する項目
「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」等、読書に関する項目
「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」等、学習のふりかえりに関する項目

【指導の充実に向けて】

- ・これまでに引き続き、授業の初めに見通しを持って学習に臨めるような「めあて」を提示、授業の終わりには、振り返る活動を推進します。特に「ふり返し」の活動を充実させることにより、学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる力や、自ら課題を見出し解決する力の素地育成を目指します。
- ・ペアやグループで話し合う場面を取り入れ、聴き合う関係づくりの強化を進めます。また、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫する活動を設定する等、児童の深い学びにつながる授業づくりにも日々取り組んでいます。
- ・教科指導の際には、正しい答えを出すことだけではなく、問題を解く過程も重視した指導に努めます。
- ・ベシックタイムにおいて、ガッテンプリント（県教育委員会作成の学力補充プリント）やeライブラリ（ICT）、100マス計算や本読み計算を活用し、基礎の積み上げや定着を図ります。特に、本調査で弱さの見られた領域や課題に対する補充等に力を入れていきます。
- ・保護者、地域との連携を図りながら規則正しい生活習慣や家庭学習の習慣、学習の計画等に関する課題について、学校だよりや家庭学習の手引き等を活用しながらさらなる啓発を進めていきます。